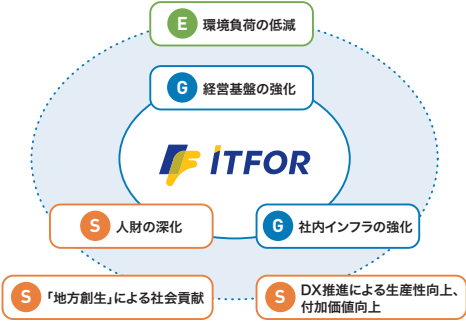


マテリアリティへの取り組み

アイティフォーは、持続可能な未来社会の実現に貢献しながら、事業戦略を通じて企業価値を高め、グループ全体の持続的な成長を支えるために、サステナビリティ方針に基づき、5つのマテリアリティ(重要課題)を掲げています。

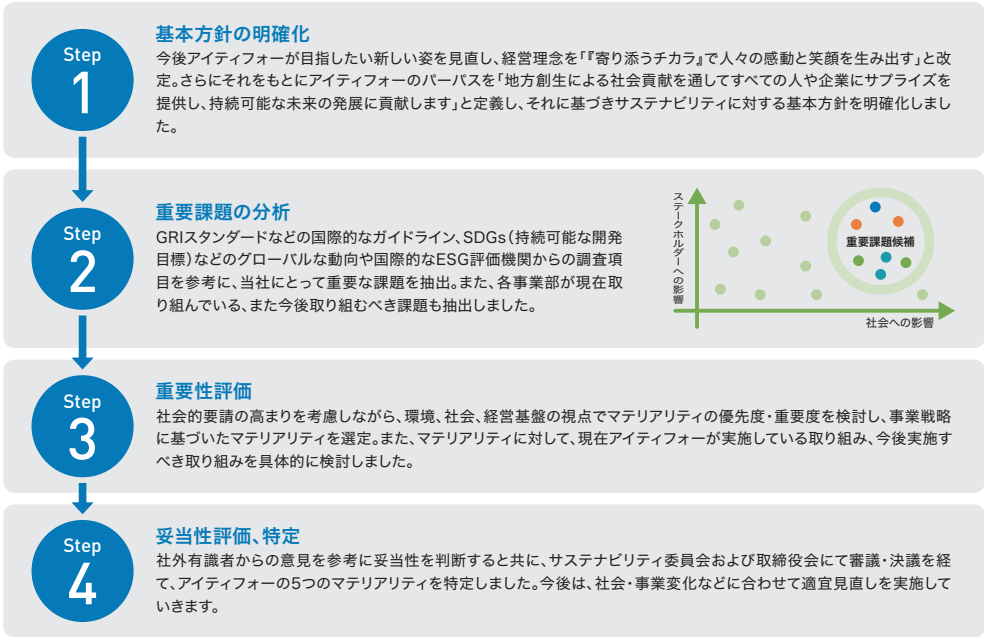
〈マテリアリティ(重要課題)〉

アイティフォーは、自社が目指すべき姿として「地方創生による社会貢献を通してすべての人や企業にサプライズを提供し、持続可能な未来の発展に貢献します」というパーパス(存在意義)を掲げています。このパーパスから策定した「サステナビリティ基本方針」に基づき、環境(E)・社会(S)・ガバナンス(G)の視点を踏まえて、5つのマテリアリティを特定しました。アイティフォーのサステナビリティ活動は、これらのマテリアリティに対して、本業である事業活動を通じて具体的な取り組みを進めています。



〈特定プロセス〉

アイティフォーは、組織横断的なサステナビリティ委員会を設置し、経営理念と国際的なガイドラインや、グローバルな動向などを踏まえ、2021年11月に5つのマテリアリティを特定しました。



マテリアリティ(重要課題)	具体的取り組み	関連するSDGs
環境負荷の低減	温室効果ガス排出量削減に関する直接・間接的な取り組みを進めることで、2030年までに温室効果ガス排出量を半減することにチャレンジしていきます。また、気候変動リスクによる事業影響への適応に努め、事業継続性の観点からBCP対策のソリューションも提供します。	気候変動リスクに対する活動の推進 2 気候変動 7 持続可能なエネルギー 11 持続可能な都市とコミュニティ 12 持続可能な消費と生産 13 気候変動
「地方創生」による社会貢献	事業活動を通じたソリューションを含むオープンイノベーションを活用することで、都市部と地方の格差を是正し、地方経済の活性化を目指します。	事業を通じた地域課題の解決 オープンイノベーションによる地方活性化 地方雇用活性化ソリューションの提供 3 持続可能なエネルギー 4 質の高い雇用と経済成長 8 持続可能な産業とイノベーション 9 持続可能な都市とコミュニティ 10 持続可能な社会
DX推進による生産性向上、付加価値向上	常に新しく進化するITを活用して団体・企業の実業性向上を支援すると共に、やりがいを持って働くことができる環境構築を支援します。	新技術を活用した社会インフラの構築、提供 DXによるディーセント・ワーク推進 5 質の高い雇用と経済成長 8 持続可能な産業とイノベーション 9 持続可能な都市とコミュニティ
経営基盤の強化	コンプライアンス経営やリスクマネジメント体制、コーポレート・ガバナンス体制の強化などの「経営基盤の強化」と、社内DX化促進などの「社内インフラの強化」を推進します。	経営基盤の強化 ・コンプライアンス経営の強化 ・リスクマネジメント体制の強化 ・コーポレート・ガバナンスの強化 社内インフラの強化 ・社内DX化の推進 ・セキュリティ強化 8 持続可能な産業とイノベーション 16 平和と公正な社会
人財の深化	多様な価値観・バックグラウンドが尊重され、一人一人が能力を最大限発揮できるよう、人財の活躍推進と育成に取り組むと共に、働きがいのある未来志向の職場環境を創造します。	人権の尊重 多様な人財の活躍推進と育成 働きがいのある職場環境の提供 労働安全衛生・健康経営の継続的な推進 3 持続可能なエネルギー 4 質の高い雇用と経済成長 5 質の高い雇用と経済成長 8 持続可能な産業とイノベーション 10 持続可能な社会